

県新人大会に出場するチーム責任者（監督）への通知連絡

1. 会場に到着後、チーム代表者が本部で受付を行い、大会参加料（5,000円）を支払う。この際、コンポジションシート（6枚）・チーム表示（2枚）を提出する。
2. エントリー変更・訂正がある場合は、HPより「エントリー交代・変更届」を印刷し、1日目の受付時に提出すること。これ以降の変更・訂正はいかなる場合も一切認めない。監督・コーチの変更については、1日目、2日目を問わず、同用紙にて変更の手続きを行う。
3. ベンチ及びフロアには有効に登録された監督・コーチ・マネージャー（生徒）・登録選手12名及び「練習時のサポート生徒」以外は入ることができない。
4. 試合前の「練習時のサポート生徒」の人数は制限しない。プロトコール後フロアには、監督・コーチ・マネージャー（生徒）・登録12名とする。それ以外は定められた場所で応援・観戦する。
5. 「フロア開放」から「第1試合のチームのみの練習」までの間は全ての出場チームが、フロアでの練習をすることができる（フロアで練習できるチームごと人数は各会場の競技委員長指示による）。
6. 試合前の練習については、直前に試合を行うチームのみフロアでの練習を認める。原則、試合前に「5分間」の練習時間を両チームに許可し、両チームの責任者が相談してコートを使用する。
7. 両チームでの練習後、6分間の公式練習時間を設定する。（連続試合間は15分とする）。
8. 大会2日目、第3試合と第4試合の間に30分の昼食等休憩時間をとる。
9. 試合開始時の動きについては、両チームエンドラインに整列後、主審の吹笛で挨拶。その後、アタックラインに整列に互いに敬意を表して相手チームに拍手を送る。審判の指示でベンチに戻る。終了時も同様の動きとする。
10. 開会式・閉会式は実施しない。準決勝・決勝終了後にコートにて表彰を行う。
11. 大会1日目、第1試合の補助役員（ラインジャッジ・点示・記録員）は、各コートの第3試合のチームから9名出して行う。第2試合以降の補助役員は前試合の敗退チームから役員を出し、同様に行うものとする。補助役員は登録選手であるかどうかを問わない。特に記録員については確実にできる生徒を出すものとする。なお、大会2日目については、各コートの第2試合のチームから9名（5名または4名）出して行う。
12. 試合の際は、監督・コーチ・マネージャーは所定のマークを左胸につけること。外部指導者については大会申込時に「申請書」を提出する。
13. チームスタッフの服装についてハーフパンツ（足が見える服装）やランニングシャツは認めない。
14. チーム代表者は、送迎用の車や観戦者の駐車により、近隣の事業所や住宅に迷惑をかけることのないようにチーム関係者に喚起すること。路上駐車等は厳に慎むこと。
15. 貴重品は各チームで責任をもって管理すること。
16. 落とし物、忘れ物のないように留意する。忘れ物は大会本部で保管し3日間連絡がない場合は処分する。
17. 施設・設備の破損には十分注意する。破損した場合は各チームで責任を持ち、大会本部に連絡すること。
18. ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。
19. 出場チームにはプログラムを1冊配布する。プログラムの注文は原則、事前の注文によるものとするが、当日の販売も若干数行う。（注文した冊数の代金は受付にて支払うこと）。
20. 外部コーチ「承諾書」は、大会当日の受付時に県本部役員より受け取る。
21. 大会の進行状況によって、試合のコートが空く場合があるが、練習の許可については競技委員長の指示に従うこと。
22. 試合前のコート練習は、審判員・大会役員の許可を受けてからコートに入ること。※試合終了後の写真撮影については、敗退したチームから撮影を行う。
23. ユニフォームは、日本中体連競技規則に則って取り扱う。靴下についても同様である。※ユニフォームは上下ともにすべて同じ物であること。靴下はくるぶしソックスを認めない。同色とする。
24. チームに帯同する（もしくはチームを引率している）審判役員は、会場の準備から試合終了後の片付け、打ち合わせに至るまで、大会を運営する役員のひとりとして協力してその任にあたること。
25. 各チームは大会運営に協力し、大会本部の指示に従って行動すること。